

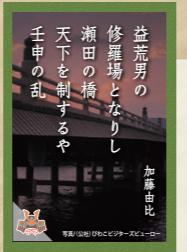


第80首

湖北エリア

作者 脇坂田鶴子

歌意 賤ヶ岳は子どもの頃から徒歩でリフトで何度も登った山です。秀吉と勝家の戦いの世に思いを馳せもう一度行きたいところです。

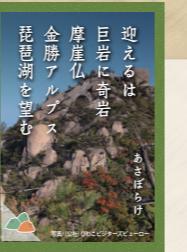


第86首

大津エリア

作者 加藤由比

歌意 綿密な行動を経て挙兵に挑んだ大海人皇子達の行動力には心惹かれます。乱の皇族・貴族・豪族・舎人達の家系図や年表を書いて独学しています。

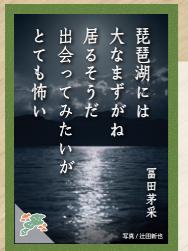


第91首

その他

作者 あさぼらけ

歌意 金勝アルプスは、テレビでも紹介されており、母校登山部の先輩も鶴冠山山行記録を同窓会誌に寄稿しています。金勝アルプスは滋賀の誇りです。

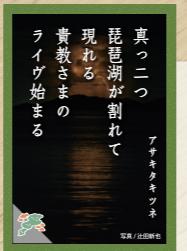


第81首

琵琶湖

作者 富田茅采

歌意 自然の生物に出会うかもという好奇心を込めました。

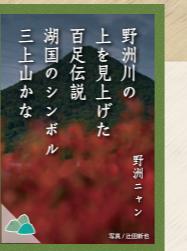


第87首

湖南エリア

作者 アサキタキツネ

歌意 滋賀県を代表する歌手・西川貴教さんのイメージで詠みました。ダイナミックなステージのイメージが伝わればと思います。



第92首

湖南エリア

作者 野洲ニヤン

歌意 私の郷では有名な三上山の百足伝説(むかでんせつ)が知られていないのでもっと広めたいです。



第82首

東近江エリア

作者 小宮美也子

歌意 歴史を感じられる滋賀にあこがれます。



第88首

湖北エリア

作者 高田チヅ

歌意 賤ヶ岳の麓、琴糸の西山地区、鍋に湯を沸し、汗を流し一本の糸を手繕り寄せる辛抱強さ、たくさんの糸を擦り合せる技術で琴糸の美しい音色が醸し出されます。

宮島さん
COMMENT

糸取りの生き生きとした光景から、糸取りの歴史を馳せました。江戸時代にも現代にも通じる歌なのがよかったです。

高田さん
COMMENT

繭の動き、鍋の湯気、糸取女の視線、一本の細い光——。一瞬の情景が繊細に描かれています。結句の「一本の糸」は象徴性を帯び、歌に込められた祈りのような余韻を残します。



第97首

甲賀エリア

作者 森下博史

歌意 なんなく大変な夫婦になりそう。



第83首

大津エリア

作者 川村育久

歌意 比叡山延暦寺の不滅の法灯が、世界混沌の今こそ、人類に智慧の灯を照らし続けて欲しい。戦争の愚を知らしめる法灯への願いを込めて。



第84首

琵琶湖

作者 上垣光翔

歌意 下校時に琵琶湖に映る自転車と自分を想像して詠みました。

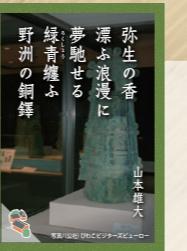


第89首

湖東エリア

作者 今林快波

歌意 月光の優しい光を浴びながら、城は昔の戦の時代を夢にでも見ているのでしょうか。

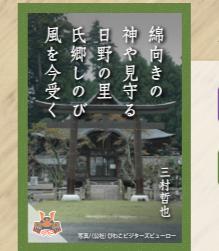


第93首

湖南エリア

作者 山本雄大

歌意 野洲から134cmを超える日本最大の銅鑼が出土しており、製作過程の動く模型等を博物館で見ることができます。古代の口マン漂う地を詠みました。

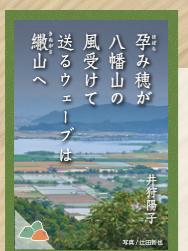


第98首

湖東エリア

作者 山本祐史

歌意 世界中に似たボードゲームがあるのに歴史は謎なカロム。彦根では昔は当たり前に家にあり楽しんだものです。もっと世に広まれとの願いを込めて…。



第85首

東近江エリア

作者 井狩陽子

歌意 稲がグングン成長した田園を大風が吹き抜けると、稻穂は激しい擦れ音を響かせ大波小波を起こします。こうして丈夫な稻に育っていくようです。

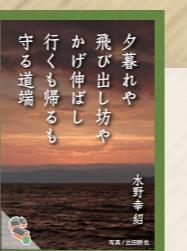


第90首

高島エリア

作者 沖原イヲ

歌意 海津大崎の桜が見事でした。遠目からでもわかるのがインパクト大です。



第94首

その他

作者 水野幸紹

歌意 滋賀県といえば飛び出し坊や。黄昏時、道路脇の飛び出し坊やの影が長く伸びる近江路を思いながら作りました。

宮島さん
COMMENT

飛び出し坊やが存在する日常風景がかけがえのないものとして感じられました。雨の日も風の日もご苦労さまとねぎらいたなります。



第100首

湖南エリア

作者 蜘蛛野澄香

歌意 三上山の登山道に割れ岩があります。岩と岩の間はとても狭いですが、そこを進みます。

高田さん
COMMENT

初句、二句の描写がうまい。結句の「擦りつつ進む」には、狭い岩場を登っている体感があります。繊細さと迫力が同居する一首です。